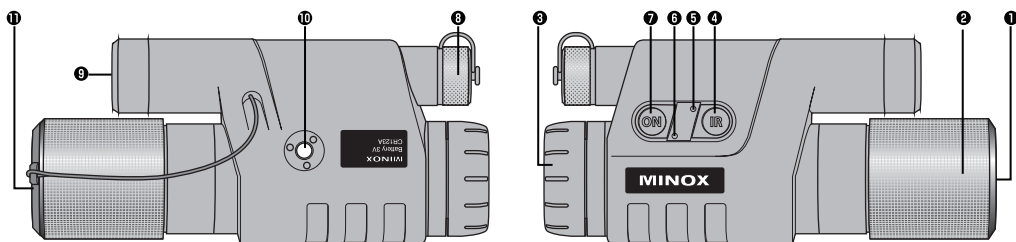


各部の名称



- ⑧ バッテリー収容部
- ⑨ 赤外照射器
- ⑩ 三脚座
- ⑪ レンズキャップ
- ① 対物レンズ
- ② 対物レンズフォーカスリング
- ③ アイピースフォーカスリング
- ④ 赤外照射 (IR) スイッチ
- ⑤ 赤外照射LED (赤)
- ⑥ 電源LED (緑)
- ⑦ メインスイッチ

日中での使用



注意事項：増幅器は極めて繊細な部品です。不用意に日中光にさらすと修理不能な損傷を受ける場合があります。日中は絶対にレンズキャップを取り外さないでください。

●スイッチを入れる

メインスイッチ⑦をOnにすると電源LED⑥(緑)が点灯します。スコープを覗くと、明るいグリーンの蛍光像を見ることができます。

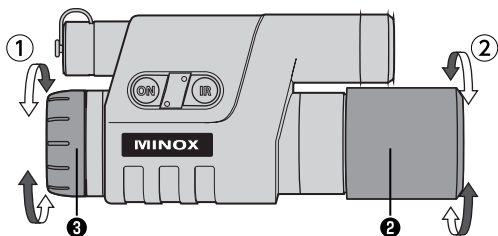
●スイッチを切る

メインスイッチ⑦を押して電源をOffにします。スコープを覗くと、グリーン像が短時間見えてから消えます。これは故障ではありません。ナイトビジョンスコープは、スイッチを切ると一定の短い時間が経過してから画像が消えるようになっています。

夜間での使用

●スイッチを入れる

レンズキャップを取り外し、メインスイッチ⑥をOnにすると電源LED⑥(緑)が点灯します。アイピースを覗くとグリーン像が見えます。



●調節

20～30m先の物体にスコープを向けてください。
①アイピースのフォーカスリング③を回すと次第に像がシャープになります。
②今度は先端のフォーカスリング②を回すと像はさらにシャープになります。
必要に応じてこの操作を繰り返します。

●赤外照射器 (IR)

光量が不足する条件下では赤外照射器⑨を使います。暗い場合では赤外照射器 (IR) スイッチ④を入れます。赤外照射LED (赤)⑤が点灯し画像がはっきりと見えてくるはずですが。

●スイッチを切る

メインスイッチ⑦を押してOffにします。アイピースを覗くと、グリーン像が短時間見えてから消えます。これは故障ではありません。ナイトビジョンスコープは一定の短い時間が経過してから消えるようになっています。

重要事項

- ※バッテリーの消耗を防ぐため、電源をこまめに切ることをお奨めします。
- ※スコープをケースにしまう場合、レンズキャップが取り付けられているかを必ず確認してください。

故障かなと思ったら

スイッチが入らない

→バッテリー残量とバッテリーが正しく入っているかどうかを確認してください。

画像が見えない

→スコープを物体に向け、アイピース調整をして画像がシャープになるかどうかを確認し、次にフォーカスリングを回してさらにシャープになるかどうかを確認します。この作業を反復します。

フラッシュ

→メインスイッチを入れた後の2分間程度の間にフラッシュ減少が起こる場合があります。周囲が明るすぎる場合にこの現象が継続します。レンズキャップを付けている場合でも起こることがあります。暗い場所ではこの現象は少なくなるか完全になくなります。

スコープが曇る

→低温条件下から急に暖かい場所に置くと冷却されたレンズ面に湿気の凝縮が発生する場合があります。周囲温度に順応するためには多少の時間を必要とします。

画像が見えにくくなるか消える

→過度の光(月光、スポットライト、投光器の光)などで見えなくなる場合があります。そういった際は直ぐにスコープを光源からそらしてください。2分ほどで画像が見えてきます。濃い霧やもやがかかっている場合や、極端に暗い場所などでは近距離でしか見えなくなる場合があります。

視野の中に黒のドットが現われる

→スコープで見ていると視野内に黒のドットが現われる事があります。これは光学的欠陥ではなく、このタイプのナイトビジョンの典型的特徴です。

仕様

倍率	2.5X
対物レンズ径	40 mm
明るさ	F1.2
増幅器	Gen 1+
視界	60 - 80 m
距離範囲	1mから無限遠
寸法／重量	170 x 79 x 50 mm / 335 g
バッテリー	CR 123Aリチウム

運用時間	IRなし	60時間
	IR使用	25時間
運用温度範囲	-30℃から50℃	
保管温度範囲	0℃から60℃	
耐湿度	IPX4	
相対湿度	93%まで	
赤外照射器	装備	
三脚座	装備	